

○職員に対するコンプライアンスアンケートの結果（令和元年度）

（1）職員コンプライアンスアンケート

○アンケートの概要			
(1) 対象者			
全職員（IR推進局職員を除く）			
(2) 実施時期			
令和元年12月16日～令和2年1月31日			
(3) 実施方法			
eラーニングシステム及びアンケート用紙等配付により実施			
(4) 回答者数			
21,981名			

※一部質問に回答していない職員がいるため、各質問の回答数は上記の回答者数と一致しません。
※令和元年度の質問や選択肢は、昨年度までの内容と変更している点があるので、平成30年度割合は参考値です。

【質問1】あなたは、大阪市職員に求められる「コンプライアンス」という言葉の意味をどのように理解していますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
法令を守ること。	1,585	7.2%	7.1%
法令等をしっかり守ることを基本とし、全体の奉仕者として、法令の奥にある市民の要請を理解し、これに応えていくこと。	20,371	92.7%	92.7%
わからない。	25	0.1%	0.2%

※大阪市職員に求められるコンプライアンスとは、「法令等をしっかり守ること」を基本とし、「全体の奉仕者」として、法令の奥にある「市民の要請を理解し、これに応えていくこと」も含んで考えます。

【質問2】あなたは、日々の業務を執行するにあたって、「コンプライアンス」を意識していますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
意識している。	21,854	99.4%	99.2%
意識していない。	126	0.6%	0.8%

<例>
・法律・条例・要綱等を意識している。
・「業務マニュアル」・「作業手順書」等の仕事における「ルール」を意識している。
・その他、仕事や社会の「ルール」を意識している。
・担当業務を理解し、市民に適切に説明するようにしている など。

【質問3】あなたは、日々の業務を執行するにあたって、適切に行えているか、日常的にチェックを行っていますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
行っている。	21,192	96.4%	96.6%
行っていない。	786	3.6%	3.4%

<例>
・日々の業務の執行にあたり、マニュアル・手順書・チェックリスト等を活用している。
・スケジュール表を活用して、業務の進捗管理を行っている。
・業務日誌・日報等による作業状況のチェックを行っている。
・その他、通常業務の中でチェックを行っている など。

【質問4】あなたは、本市で発生しているコンプライアンス違反事例を知っていますか。

回答	回答数	割合	平成30年度割合
知っている。	20,692	94.2%	－
知らない。	1,271	5.8%	－

<例>
・決裁を行わずに契約書を作成したり、期限内に契約書を作成しなかったなど、不適正な事務処理を行った
・業務とは関係なく、業務システムを使用及び閲覧し、個人情報情報を外部に漏えいしていた など

【質問5】あなたは、あなたの直属の上司が日々の業務において「コンプライアンス」を意識していると思いますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
そう思う。	21,361	97.2%	97.1%
そう思わない。	619	2.8%	2.9%

<例>
・法律・条例・要綱等を意識している
・「業務マニュアル」・「作業手順書」等の仕事における「ルール」を意識している
・その他、仕事や社会の「ルール」を意識している
・担当業務を理解し、市民に適切に説明するようにしている など

【質問6】あなたは、あなたの直属の上司から「コンプライアンス」に関する考えや方針をきいたことがありますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
ある。	20,866	94.9%	94.4%
ない。	1,115	5.1%	5.6%

<例>
・コンプライアンス推進強化月間における所属長メッセージ
・「職場コンプライアンス研修」における管理監督者からのメッセージ
・職場の朝礼、ミーティングにおける上司の発言
・その他、業務等における上司の発言 など

【質問7】あなたは、あなたの職場でコンプライアンス違反又はそのおそれが生じた場合、その情報が上司に迅速に伝わると思いますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
そう思う。	20,806	94.7%	94.5%
そう思わない。	1,174	5.3%	5.5%

【質問8】あなたは、あなたの職場で職務に関して、自由に意見が言えますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
おおむね自由に意見が言える。	20,699	94.2%	94.0%
自由に意見が言えない。	1,280	5.8%	6.0%

【質問9】質問7で「自由に意見が言えない。」を選択した理由について、あてはまる選択肢を選んでください。（複数回答可）

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
意見を言うことで他の職員からのいやみや圧力があり、仕事がしにくくなるため。	871	68.0%	48.1%
職場に、意見を言ったり聞いてもらえるような雰囲気や機会がないため。	805	62.9%	57.5%
意見を言っても採用してもらえず、言ってもしかたがないと思うため。	716	55.9%	55.4%
職場内に相談できる人がいないため。	363	28.4%	30.4%
意見を言うと、自分の仕事が増えるため。	292	22.8%	23.1%
仕事に関して前向きになれず、自分から意見を言うつもりがないため。	222	17.3%	22.5%

【質問10】選択肢以外の「その他の理由」がある場合は、入力してください（自由記述）。

主な回答

・現在の職場は特に、在籍長い人が異動者・新人の意見を聞く雰囲気・改善の意識がない。

・職場の上下関係でのコミュニケーションが悪いため。

・職場の人間関係がうまくいっていない。

・そこまで極端に物が言えない雰囲気ではないが、あまり発言の場がないため。

【質問11】「公益通報制度」は、本市職員のコンプライアンス意識の向上に役立っていると思いますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
役立っている。	18,233	83.0%	81.6%
役立っていない。	2,749	12.5%	12.7%
その制度・取組みを知らない。	995	4.5%	5.7%

【質問12】公益通報のどのような点が役立っている（役立っていない）と思いますか。

・たばこやパワハラ等について、実際に公益通報があると、身に覚えのある職員が行動変容すると思う。

・外部・内部の双方から見られている意識を持つことで、コンプライアンス違反の抑止力となる点。

・匿名で行える点が制度の有効性を確保し、通報制度の存在がコンプライアンス意識向上にもつながっていると思う。

・役立っているとは思いが、匿名であるがゆえ虚偽の通報があると思う。

・「告げ口」「誹謗中傷」の場になっているのではないか。

【質問13】「コンプライアンス研修」は、本市職員のコンプライアンス意識の向上に役立っていると思いますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
役立っている。	20,610	93.8%	94.2%
役立っていない。	1,089	5.0%	5.2%
その制度・取組みを知らない。	276	1.3%	0.6%

【質問14】コンプライアンス研修のどのような点が役立っている(役立っていない)と思いますか。

・1年に1度、コンプライアンスを思い起こす機会となるので、有意義に使わせてもらっている。
・毎年同じような内容であっても再認識できる機会であると思う。
・毎回同じような内容で聞き飽きている感がある。
・意識を改めるためには役に立っていると思うが、研修内容がマンネリ化しており、響かない。
・もともと意識がある職員には同じようなことの繰り返しで、もともと意識のない職員にはなにを言っても響かないと思うので、全体としては変化がないように思える。

【質問15】「コンプライアンス推進強化月間」は、本市職員のコンプライアンス意識の向上に役立っていると思いますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
役立っている。	18453	84.0%	83.5%
役立っていない。	3097	14.1%	14.2%
その制度・取組みを知らない。	426	1.9%	2.3%

【質問16】コンプライアンス推進月間のどのような点が役立っている(役立っていない)と思いますか。

・気付きという点ではコンプライアンスを振り返ることに役立っているが、意識の向上というレベルまでは至っていないと考える。
・意識喚起と部下職員に対するメッセージを発信する機会となる。
・日々意識しているので、改めて強化月間を設ける必要はないと思う。
・普段から意識しており、正直月間という意識をあまりしていない。
・常に意識すべきものであるため、そもそもより意識強化しようというスタンスがどういふものなのかわからない。

【質問17】「コンプライアンス・ニュース」は、本市職員のコンプライアンス意識の向上に役立っていると思いますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
役立っている。	19016	86.5%	85.6%
役立っていない。	2235	10.2%	10.1%
その制度・取組みを知らない。	728	3.3%	4.3%

【質問18】コンプライアンス・ニュースのどのような点が役立っている(役立っていない)と思いますか。

・気付きという点ではコンプライアンスを振り返ることに役立っているが、意識の向上というレベルまでは至っていない点。
・業務量が多い中で確認する余裕がなく、全ての職員がPCを使用している訳ではない。
・コンプライアンスを遵守できる者は読むと思うが、そうでない者は読まない。
・手軽に読めて参考になる。
・具体的事例をあげて、啓発されているので役立っていると思う。

【質問19】「コンプライアンスハンドブック」は、本市職員のコンプライアンス意識の向上に役立っていると思いますか。

回答	回答数	割合	平成30年度 割合
役立っている。	17393	79.2%	82.3%
役立っていない。	2712	12.3%	10.8%
その制度・取組みを知らない。	1860	8.5%	6.9%

【質問20】コンプライアンスハンドブックのどのような点が役立っている(役立っていない)と思いますか。

・分かりやすくて便利なツールであると思うが、職員の認知度が低いと思う。
・コンプライアンスに関する基本的な知識の普及に役立っている。
・職員として知っておくべき事項が記載されているので、認知度を上げるべきである。
・意識の低い者が自主的に読むとは考えにくい。